

# わたりだ

渡田小学校教育目標  
やる気いっぱい  
笑顔いっぱい  
元気いっぱい  
川崎市立渡田小学校

2024. 11. 29

## 「実りの秋」までの道のり

学校長 楠田 典子

11月9日、さわやかに晴れ渡った秋空の下、今年もスポーツフェスティバルを開催することができました。コロナ禍以降、全学年そろっての一斉開催は2回目となりますが、今年もたくさんの保護者の皆様や地域の皆様に応援していただき、子どもたちは大いに張り切って参加することができました。本当にありがとうございました。

このスポーツフェスティバルは、渡田小学校の数あるイベントの中でも大きな行事の一つです。職員間での計画立案は令和6年度が始まった当初から行われ、実際に子どもたちが活動を開始したのは、夏休み明けからという、長い活動期間を経て当日を迎えています。今年も各クラスで考えたスポーツフェスティバルのスローガンの文案を代表委員会で吸い上げ、最終的に「心を一つに～最後まで全力で輝け！渡っ子！～」という形にまとめたのは、まだまだうんざりする暑さが続いていた9月のことでした。同時期に、スポーツフェスティバルを運営するにあたって必要な係を、同じく代表委員会にて話し合い、決定。この間、教員たちは各学年の演技・競技などの内容や音楽を検討していました。連夜、学校のあちこちの教室からアップテンポの曲に合わせて振付を検討・練習する職員の姿が見られました。そして児童の演技・競技の練習が始まったのは10月の始めから。秋にしては結構降った雨の影響も何のその、暑さにも負けずに練習を重ね、校庭では所狭しと踊り、走り、投げる子どもたちの姿が連日見られました。私もはじめは体育館で、演技の振り付けを覚えようと一生懸命な子どもたちの様子を見学していましたが、日に日に振付を自分のものとして生き生きと踊るようになっていく様子に驚かされました。校庭に出て練習するようになってからは、音楽が聞こえてくると「あ、〇年生の練習時間だな。」とわかるほど、繰り返し曲に合わせて全体の動きがきれいに見えるように練習を重ねていました。特に5、6年生は、自分たちの演技の練習だけでなく、係担当としての活躍も期待されます。今年新たに付け加えられた「渡っ子円陣」というプログラムは、まさにスローガン通り、全校児童の心を一つにするしかけとして計画されたものですが、この「渡っ子円陣」をリードしたのは応援係の子どもたちです。全校児童による応援が盛り上がるよう、中休みを返上して各学年の練習に付き添いました。また、開会式・閉会式で活躍した司会係、用具の準備を担当する用具係、放送機器の準備や各種目の見所紹介に取り組んだ放送係、準備体操をリードする体操係など、そのほかにもたくさんの係の担当児童が、スポーツフェスティバルを縁の下から支える活動に精一杯取り組んでいました。

縁の下から支えると言えば、今年のスポーツフェスティバルも、PTAの皆様のお力でたくさん支えていただきました。当日朝の私からの話でもご紹介させていただきましたが、校舎前の花壇やコンテナにたくさんの花の苗を植えていただく活動を、希望する子どもたちと保護者の皆様で行ってくださいました。苗に添えられた小さな札には、「スポフェス、頑張ってるね。」「応援しているよ。」などの心温まるメッセージが添えられています。今でも見るたびに心がほっこりします。また、前日準備や当日片付けの際にも、たくさんの保護者の皆様にテント張りや片付けなどをお手伝いいただきました。これらの活動をリードくださったPTA役員の皆様をはじめとして、参加してくださった保護者の皆様、本当にありがとうございました。皆様のお力なしでは、スポーツフェスティバルを行うことはできませんでした。心より感謝申し上げます。

一つの行事が実るまでに長い道のりがあり、そこにたくさんの手間がかけられているのは、植物の実がなる過程と同じだとつくづく思います。当日の華やかな姿だけでなく、そこに至るまでに悩んだり苦しんだりした過程も、子供たちの成長に欠かせないものだと思います。長い道のりを経て得た充実感をかみしめる秋でした。